

あいち地域日本語教育推進センターの取組

愛知県多文化共生推進室

あいち地域日本語教育推進センターについて

- 2019年6月に「日本語教育の推進に関する法律」が施行され、地方公共団体が必要な体制整備に努めるよう明記されたことを受け、地域日本語教育の体制づくりを行うことを目的に「あいち地域日本語教育推進センター（以下「センター」という。）」を多文化共生推進室内に設置。

【運営体制】

- ・ センター長(室長)、副センター長(室長補佐)

- ・ 総括コーディネーター

地域日本語教育の専門的な知識を有し、県や地域日本語教育コーディネーターに対する指導・助言、関係者の調整、広報活動等を行う事業の総括を行う。

- ・ あいち地域日本語教育コーディネーター

総括コーディネーターとともに、地域や外国人の特性等に対応した教育プログラムを構想し、県内の地域日本語教育関係者への指導・助言を行う。

あいち地域日本語教育推進センター2023年度事業計画

事業一覧

予算額 55,271千円(39,736千円) (括弧内は2022年度当初予算額)

あいち外国人の日本語
教育推進会議

443千円(443千円)

総括コーディネーター
配 置

5,200千円(4,998千円)

I リソース開発 ・モデル事業

オンライン
日本語教室

新規

6,522千円(0千円)

III 財政支援

地域日本語教育
推進補助金

19,907千円(21,151千円)

IV 課題解決・ 人材育成支援

人材育成カリキュラム
検討事業

拡充②

1,815千円(353千円)

(公財)愛知県国際交流協会

日本語指導員育成事業

1,360千円(1,398千円)

II 取組の普及

地域における
初期日本語
教育モデル

拡充①

15,089千円(2,387千円)

多文化子育て
サロン等

164千円(2,889千円)

IV 連携・協働

ネットワーク会議

361千円(245千円)

市町村向け
地域日本語教育研修会

32千円(32千円)

あいち地域日本語教育
コーディネーター活動

3,622千円(5,088千円)

V その他

各種調査等

97千円(100千円)

スピーチコンテスト

659千円(652千円)

地域における初期日本語教室のモデル実施

<2023年度実施計画>

○開催地：県内3か所（犬山市、知立市、新城市）

○内 容：県内市町村と連携し、初期日本語教室及び人材育成をモデル的に実施。

翌年度以降に市町村の取組みとして継続できるよう支援する。

・初期日本語教室の開催

対象：ほとんど日本語が分からない外国人県民

内容：日本語サポーターとの対話を通してあいさつや簡単な自己紹介のための日本語を学ぶ

開催回数：計42時間

・初期日本語教育指導者養成講座の開催：計30時間

拡充

地域における初期日本語教室のモデル実施

<2023年度実施計画>

○進捗状況

・指導者養成講座

開催地	募集期間	講座開始日	回数	申込者数	受講者数
犬山市	6月26日～8月8日	8月26日	12回	27名	24名
新城市	7月4日～7月28日	8月5日	10回	20名	20名
知立市	6月13日～7月4日	7月8日	8回	24名	21名

・はじめての日本語教室（1期）

開催地	募集期間	講座開始日	回数	申込者数	受講者数
犬山市	8月1日～9月12日	9月16日	8回	30名	19名
新城市	7月4日～8月31日	9月2日	8回	37名	16名
知立市	7月4日～7月27日	7月29日	10回	72名	25名

・はじめての日本語教室（2期）

開催地	募集期間	講座開始日	回数	申込者数	受講者数
犬山市	10月31日～11月24日	12月2日	9回	9名	7名
新城市	10月18日～11月24日	12月2日	8回	13名	8名
知立市	10月10日～10月31日	11月11日	10回	27名	19名

地域日本語教育人材育成カリキュラム検討事業

<2023年度実施計画>

- 内 容：地域で初期日本語教育を行う人材の育成カリキュラム検討会議の開催及びカリキュラム作成を行う
- 検討会議
 - ・委員：7名（日本語教育有識者、あいち地域日本語教育コーディネーター、自治体職員等）
 - ・会議時間数：計20時間
- カリキュラム作成：日本語サポーター、指導者・補助者養成カリキュラムの作成

地域日本語教育人材育成カリキュラム検討事業

<2023年度実施計画>

○進捗状況

- ・全6回の会議を実施済
- ・初期日本語教育に関わる人材を4階層に分類（日本語サポーター、指導者・補助者、コースコーディネーター、地域日本語教育コーディネーター）
- ・日本語サポーター、指導者・補助者を養成するためのカリキュラムを作成・最終確認中

オンライン日本語教室の実施について

<2023年度実施計画>

- 目的：ほとんど日本語が分からない段階で日本語学習を希望するが、近くに教室がない等の理由で地域の日本語教室に通うことができない外国人県民に対して、オンラインで日本語学習機会を提供する。
- 対象：ほとんど日本語が分からない段階で、地域の日本語教室に通うことができない外国人県民
- 内容：日常生活に密着した学習内容を取り上げ、対象の異なる2コースを開催
 - ①ほとんど日本語が分からない方向けのコース
 - ②ウクライナ避難民を対象としたコース
- 開催回数：2時間×10回×2コース（週1回／コース）

新規

オンライン日本語教室の実施について

<2023年度実施計画>

○進捗状況：

コース	募集期間	講座開始日	回数	申込者数	受講者数
①一般向け	10月31日～11月21日	11月30日	10回	58名	18名
②ウクライナ避難民向け	8月25日～9月8日	9月14日	10回	21名	20名

○課題：周知先を検討しないと、管理団体から一括で申込みがあること など